

安全データシート

作成日 2006年11月20日
改定日 2019年 9月 5日

1.製品及び会社情報

製 品 名	OSプライマーERS
会 社 名	オバナヤ・セメントックス株式会社
住 所	三重県いなべ市北勢町東村1339
電 話 番 号	0594-72-6488
F A X 番 号	0594-72-6253
担 当 部 門	製造部 工場管理課
整 理 番 号	M3201

2.危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体
急性毒性	
経 口：	分類できない
経 皮：	分類できない
吸入（蒸気）：	区分4
皮膚腐食性／刺激性：	区分1
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	区分1
感作性	
呼 吸 器：	分類できない
皮 膚：	区分1
生殖細胞変異原性：	区分外
発 がん 性：	区分2
生 殖 毒 性：	区分1
特定標的臓器／	
全身毒性(単回暴露)：	区分1
特定標的臓器／	
全身毒性(反復暴露)：	区分1
吸引性呼吸器有害性：	区分1
水生環境	
急性有毒性：	区分2
慢性有毒性：	区分2
オゾン層への有害性：	分類できない

GHSラベル要素



注 意 喚 起 語：	危険
危 険 有 害 性 情 報：	引火性の高い液体及び蒸気 吸入すると有害 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器（中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓）の障害
 臓器（中枢神経系、腎臓）の障害のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれ
 長期又は反復暴露による臓器（神経系、中枢神経系、末梢神経系、呼吸器）の障害
 長期又は反復暴露による臓器（中枢神経系、腎臓）の障害のおそれ
 飲み込んで気道に侵入すると声明に危険のおそれ
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注 意 書 き：《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙
 容器を密閉しておくこと。
 容器を接地すること／アースをとること。
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は、手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急》

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸をしやすい姿勢で休息させること。
 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
 特別な処置が必要である。（SDSを医師に見せ判断を仰ぐこと。）
 無理に吐かせないこと。
 皮膚刺激を生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
 火災の場合、消火するためにABC消火器を使用すること。
 漏出した場合、漏出物を回収すること。

《保管》

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物／容器を国／都道府県／市町村の規制に従って廃棄すること。

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物
 主 成 分： ビスフェノールA型エポキシ樹脂
 成 分 及 び 含 有 量：

成分名	含有量	CASNo.	化審法
2,2-ビス(4-ヒドロキシルフェニル)プロパンの エピクロロヒドリンによるジグリシジルエーテル化変性物	20～30%	25068-38-6	7-1283
トルエン	7.9%	108-88-3	3-2
キシレン	43%	1330-20-7	3-3
エチルベンゼン	7.5%	100-41-4	3-28
メチルエチルケトン	10～20%	78-93-3	2-542
その他	—	記載あり	記載あり

4.応急措置

- 眼に入った場合：直ちに大量の清浄な水で15分以上眼を洗浄した後、出来るだけ早く眼科医の診察を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。ガーゼ等の布でよく拭取り、大量の水及び中性石鹼を使ってよく洗い落す。溶剤・シンナー等は使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛み・かゆみ等がある場合は直ちに医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：風通しの良い空気が新鮮な場所へ移して呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：直ちに水道水で口内をすすぎ、速やかに医師の診察を受けること。意識がない場合は、口から何も与えてはいけない。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

- 消火剤：小火災 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、乾燥砂などを用いる。
大火災 泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 使ってはならない消火剤：棒状注水
- 特有の危険有害性：火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：消火剤のうち、散水以外の消火剤を利用すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、危険区域での火気使用を禁止する。風下の人を退避させる。
作業の際には必ず保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項：漏出した物が下水、河川に流出するのを防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材：少量の場合、砂、ウエス等に吸着させ密閉容器に回収する。
多量の場合、可能な限りせき止めし、ポンプ(防爆型)等で回収する。又は砂、ウエス等に吸着させドラム等に回収する。

7.取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意：全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。
局所排気装置等を設置して換気を良くする。
休憩所には洗顔、洗眼、手洗い等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。
労働安全衛生法、消防法等の関連法規に準拠して作業する。
火気厳禁。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
「8. 暴露防止及び保護措置」を確認のこと。
- 保管上の注意：直射日光を避け、容器を密栓して風通しの良い屋内に保管する。
ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
- 混触禁止物質：「10.安定性・反応性」を参照。
- 容器：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
ステンレス等の密閉容器を使用すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管 理 濃 度 : トルエン 50ppm
キシレン 50ppm
メチルエチルケトン 200ppm

許 容 濃 度 :	成分名	許容濃度
	トルエン	50 ppm 日本産業衛生学会 188mg/m ³ 皮 50 ppm A C G I H (TLV-TWA) skin ; A4 ; BE I
	キシレン	50 ppm 日本産業衛生学会 100 ppm A C G I H (TLV-TWA)
	エチルベンゼン	50 ppm 日本産業衛生学会 100 ppm A C G I H (TLV-TWA)
	メチルエチルケトン	200 ppm 日本産業衛生学会 590 mg/m ³ 200 ppm A C G I H (TLV-TWA) ; BE I 300 ppm A C G I H (STEL) ; BE I

設 備 対 策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行なうことが望ましい。
洗顔、洗眼、手洗い場等を設置。

保護具

眼 の 保 護 具 : 側板付普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
手 の 保 護 具 : ゴム又は樹脂製の保護手袋
呼吸器の保護具 : 防毒マスク
皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣、保護手袋、長靴、眼鏡及び前掛け等
適 切 な 衛 生 対 策 : 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態・形状・色など : 微黄色透明液状
臭い (臭いの閾値) : 芳香臭
p H : データなし
融 点 / 凝 固 点 : データなし
沸 点・初留点及び沸騰範囲 : データなし
引 火 点 : -7°C (原料データとして)
爆 発 範 囲 : トルエン 下限 1.1V○1%、上限 7.1V○1%
キシレン (0-体、m-体、p-体) 下限 0.9V○1%~1.1V○1%
上限 6.7V○1%~7.0V○1%
エチルベンゼン 下限 1.0V○1%、上限 6.7V○1%
メチルエチルケトン 下限 1.8V○1%、上限 11.5V○1%
蒸 気 圧 : トルエン 3.8 kPa (25°C)
キシレン (0-体、m-体、p-体) 0.7~0.9 kPa (20°C)
エチルベンゼン 0.9 kPa (20°C)
メチルエチルケトン 10.5 kPa (20°C)
蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
溶 解 性 : 種々の有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分係 : データなし
自 然 発 火 温 度 : データなし
分 解 温 度 : データなし

10. 安定性・反応性

安 定 性 : 通常貯蔵条件では安定。
危 険 有 害 反 応 可 能 性 : 酸、塩基と接触すると反応熱を伴って硬化する。(窒素充填要す)
避 け る べ き 条 件 : 高温多湿、混触危険物質との接触、火源
混 触 危 険 物 質 : 強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基 (特に 1、2 級の脂肪族アミン)

11.有害性情報

急性毒性 経口 :	区分外
経皮 :	区分外
吸入(気体) :	分類対象外
吸入(蒸気) :	区分4 混合物計算推測値(LC50) : 6286.43ppm 吸入すると有害な物質を含む
吸入(粉じん、ミスト) :	分類できない
皮膚腐食性/刺激性 :	区分1 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷がある物質を含む
眼に対する重篤な損傷性 /刺激性 :	区分1 重篤な眼の損傷がある物質を含む
呼吸器感作性 :	分類できない(個体/液体:分類できない 気体:分類できない)
皮膚感作性 :	区分1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある物質を含む
生殖細胞変異原性 :	区分外
発がん性 :	区分2 発がんのおそれの疑いがある物質を含む
生殖毒性 :	区分1 生殖能又は胎児への悪影響のおそれがある物質を含む
授乳に対する又は 授乳を介した影響 :	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分 授乳中の子に害を及ぼすおそれがある物質を含む
特定標的臓器/ 全身毒性(単回暴露) :	区分1、区分2、区分3 臓器(中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓)の障害がある物質を含む 臓器(中枢神経系、腎臓)の障害のおそれがある物質を含む 呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれがある物質を含む
特定標的臓器/ 全身毒性(反復暴露) :	区分1、区分2 長期又は反復暴露による臓器(神経系、中枢神経系、末梢神経系、呼吸器)の障害がある物質を含む 長期又は反復暴露による臓器(中枢神経系、腎臓)の障害のおそれがある物質を含む
吸引性呼吸器有害性 :	区分1 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれがある物質を含む

12.環境影響情報

生態積性 :	トルエン ブラウンシュリンプ EC ₅₀ 3.5 mg/L/96H キシレン ニジマス LC ₅₀ 3.3 mg/L/96H エチルベンゼン ブラウンシュリンプ LC ₅₀ 0.4 mg/L/96H メチルエチルケトン ブラウンシュリンプ LC ₅₀ 1950 mg/L/24H
残留性/分解性 :	ビスフェノールA型固形エポキシ樹脂;ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂より残留性・分解性は低い。 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂は急速分解性がない。(BODによる分解度:0%) トルエン 急速分解性がある。(BODによる分解度:123%) キシレン 急速分解性がない。(BODによる分解度:39%) エチルベンゼン 急速分解性がある。(HPLC分解度:100%) メチルエチルケトン 難水溶性ではない。(水溶解度=2.23×10 ₅ mg/L)
生体蓄積性 :	ビスフェノールA型固形エポキシ樹脂;ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂より生体蓄積性が低いもの(BC≤42) キシレン 生物蓄積性が低いと推定される。(log kow=3.16) エチルベンゼン 生物蓄積性が低いと推定される。(log kow=3.15) トルエン 生物蓄積性が低いと推定される。(log kow=2.73)
水生環境有害性(急性) :	区分2 水生生物に毒性がある物質を含む
水生環境有害性(慢性) :	区分2 長期継続的影響によって水生生物に毒性がある物質を含む
土壌中の移動性 :	データなし
オゾン層への有害性 :	分類できない

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物： 処理に関しては、十分な知識を有する専門家の指示に従う。
残余物の処理は、焼却炉で少量ずつ処理するか、都道府県知事の許可を受けた信頼できる廃棄物処理業者に、廃棄物の危険・有害性を充分告知の上、その処理を委託する。
- 汚染容器： 空容器は残油または気化した蒸気の引火、爆発の危険があるので、密栓し、指定場所に保管する。残油の回収、蒸気開放等未処理の空容器の切断、溶接等の加工はしない。
廃棄する場合は内容物を完全に除去した後処分する。
- 焼却する場合： 珪藻土、おが屑などに吸収させて開放型の焼却炉で焼却する。

14. 輸送上の注意

- 国連分類： クラス 3（引火性液体）
- 国連番号： 1263
- P G： II
- 緊急時応急措置指針番号： 128
- 陸上輸送： 消防法、労働安全法に定められる運送方法に従うこと。
- 海上輸送： 船舶安全法に定められるところに従うこと。
- 航空輸送： 航空法に定められるところに従うこと。
- 輸送又は輸送手段に関する
特定の安全対策及び条件： 容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

15. 適用法令

- 消防法： 危険物第4類第1石油類 危険等級II
- 化学審法： 優先評価化学物質(法第2条第5項)
46 トルエン
50 エチルベンゼン
125 キシレン
115 メチルエチルケトン
- 労働安全衛生法： 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
407 トルエン
136 キシレン
70 エチルベンゼン
570 メチルエチルケトン
名称等を表示すべき有害物(法第57条第1項、施行令第18条)
407 トルエン
136 キシレン
70 エチルベンゼン
570 メチルエチルケトン
第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2、有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)
37 トルエン
11 キシレン
44 メチルエチルケトン
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
特定化学物質第2類物質、エチルベンゼン等(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2、3の2号)第3号の3に掲げるもの(エチルベンゼンを1%超含有する物)並びにエチルベンゼン及び有機溶剤(施行令別表第6の2に掲げる有機溶剤)の含有量が5%以下のものを除く。(特化則・別表第1、37)
労働基準法 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号)
トルエン
キシレン

健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項・厚労省指針公示)
エチルベンゼン
労働災害認定物質
ビスフェノールA型固形エポキシ樹脂

化学物質管理促進法

(PRTR法): 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

300 トルエン
80 キシレン
53 エチルベンゼン

毒物及び劇物取締法: 非該当

大気汚染防止法: 該当

水質汚濁防止法: 該当

海洋汚染防止法: 該当

船舶安全法: 引火性液体類(危規則第2、3条危険物告示別表第1)

航空法: 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。
